

## 社会学部報

- ◇昭和47年3月21日 山中良知教授オランダ留学を終えて帰学。
- ◇3月31日 大道安次郎教授定年のため退職、冷水豊助手老人総合研究所研究員に就任のため退職、小関藤一郎教授任期満了のため社会学部長を退任。
- ◇4月1日 万成博教授社会学部長に就任。中山慶一郎助教授(統計学)新任。半田一吉助教授、武田建助教授、教授に昇任。
- ◇4月8日 大道安次郎氏に本学より名誉教授の称号が与えられた。(昭和47年4月1日附)
- ◇4月17日 始業礼拝において余田博通教授が「大学の理念」を講演。
- ◇4月26日 研究会総会、昭和46年度会計報告、役員改選、会則改正、および紀要、研究会の運営について協議が行なわれた。
- ◇5月20日 倉田和四生教授著「都市化の社会学」第2回奥井復太郎賞を受賞。
- ◇5月24日 学部研究会、発表者紺田千登史助教授「ベルクソン哲学における認識の諸問題と行為」、中山慶一郎助教授「Fixed Interval Analysis による消費パターンの地域差分析」
- ◇6月21日 学部研究会、発表者牧正英助教授「繊維中小企業における定着意識」、森川甫助教授「『プロヴァンシャル』から『パンセ』へのパスカルの思想の発展」
- ◇9月13日 研究会臨時総会 普通会员の会費を年額6,000円に改正
- ◇9月20日 学部研究会 発表者領家穰教授「部落問題について」、横山勝英教学補佐「未解放部落の形成について」

### 海外出張

杉山貞夫教授 昭和47年6月15日より7月11日まで、学会ならびに研究会に出席のため、オランダおよび米国へ。

山中良知教授 昭和47年7月1日より11日まで、神学校で集中講義のため韓国へ。

中野秀一郎助教授 昭和47年7月5日より9月5日まで Professions の研究および資料蒐集のため、ベトナム共和国へ。

### 外地留学

嶋田津矢子教授 昭和47年6月27日より9月30日まで、学会出席および社会福祉施設視察のため、欧州各国へ(学院外留学)

牧正英助教授 米国、ミシガン州立大学へ一ケ年間留

学のため、昭和47年9月10日出発。

### 会員の新著

倉田和四生教授 都市(共訳)、昭和47年9月、鹿島出版会

丹羽春喜教授 共産圏経済の計量的分析、昭和47年3月 アジア経済研究所。経済合理性と社会主義体制、昭和47年3月、アジア経済研究所

武田建教授 人格発達論、昭和47年6月、ナカニシヤ出版

遠藤悠一助教授 未来の職業(訳書)、昭和47年3月、鹿島出版会

津金沢聡広助教授 テレビ番組論(共著)、昭和47年6月、読売テレビ放送

真鍋一史講師 コミュニケーション行動の理論(共著) 昭和47年4月、慶応通信

## 学会消息

### ◇関西社会学会

昭和47年5月19、20の両日、第23回大会が名古屋の金城学院大学で開催された。本学から多数参加したが、第一日のシンポジウム「家族問題と家族社会学」には光吉利之助教授が討論者として参加、第二日理論部会では小関藤一郎教授が司会にあたり、また重点部会「産業構造の変革にともなう労働者の態度と行動」においては万成博教授が司会にあたったほか、小関藤一郎教授が「ゆたかな労働者についての研究動向」について発表した後、繊維産業労働者の定着意識について@牧正英助教授が「縫製加工業の事例」を、⑥佐々木薫助教授が「定着意識の心理的規定要因」を発表、最後に万成博教授が「オートメーション化と労働者の疎外」について発表した。

### ◇日本新聞学会

昭和47年6月2、3両日、南山大学において大会並びに春季研究発表会が開催された。個人発表の他、シンポジウム・テーマは「地域変容におけるコミュニケーション」激しい地域変容、環境汚染、住民運動等、地域開発の過程にみるコミュニケーションの問題が熱心に討議された。本学部からは、藤原恵教授(学会理事)津金沢聡広助教授(研究委員)が出席した。